

資料編

企業インタビュー調査

企業インタビュー調査票

「高等教育と人材育成に関する日英比較調査」

- (1) 企業インタビュー用質問紙
- (2) コンピテンシー項目リスト

「高等教育と人材育成に関する日英比較調査」企業インタビュー用質問紙

貴社の名称	
ご回答頂いた担当者の 部署・職名・氏名	
インタビュー日時・場所	2004年 月 日
インタビュー担当者氏名	

※本調査では事務系・営業系への採用と採用後10年程度の初期キャリアを対象として、お話を伺います。

A. 大卒者の採用についてお伺いします

1. 貴社における正規従業員数と大卒者（大学院卒含む）の割合を教えてください。また大卒者（大学院卒含む）について事務・営業系と技術系の割合がおわかりでしたら教えてください。

	総数	そのうち大卒者の割合
従業員数について	人	約 割
	事務・営業系	技術系
大卒従業員について	約 割	約 割

2. 貴社における事務・営業系の新規採用者について伺います。以下のそれぞれの項目について、ここ2年間ほどの状況をお答えください。

	2003年度 (2003年4月新卒を含む)	2004年度 (2004年4月新卒を含む調査時点まで)
①新規に採用した大卒者の数	人	人
②新規に採用した大学院卒者の数	人	人
③①・②を含めて新卒者の数	人	人
④外国人の大卒者の採用数	人	人
⑤外国の大学を卒業した日本人の採用数	人	人

3. 貴社では採用後3年間程度で大卒者（大学院卒を含む）はどの程度離職していますか。また、どの程度の離職率を想定されていますか。事務・営業系と技術系の別におわかりでしたらお答えください。

7. 事務・営業系の採用において以下の項目をどの程度重視されていますか。あてはまるものに○をつけてください。また、選考過程（面接など）で特に重視されている能力がありましたら、その理由を含めて具体的に教えてください。

(1) 採用で重視する項目

	重要でない	とても重要
1. 学校歴	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
2. 大学の成績	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
3. 大学在学時の就業経験	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
4. 大学在学時の課外活動経験	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
5. 採用時の学力試験	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
6. 適性検査	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
7. 面接	1 - 2 - 3 - 4 - 5	
8. その他 ()		

(2) 選考過程（面接など）で特に重視する能力とその理由

※以下の質問にお答えいただく際に、添付の36項目の能力を参照していただいても構いません。

8. 事務・営業系の採用において「学位」の意味をどのように位置づけられておられますか。

1. 在学中に何を学習してきたかを示すもの
2. 知識・技能が備わっていることを示すもの
3. 将来の訓練可能性を示すもの
4. その他 ()

B. 大卒者（事務・営業系）の職務内容や人事制度についてお伺いします

1. 貴社において大卒の事務・営業系の社員は、採用後 10 年程度（22 歳～30 歳代前半）で一般的にどのような初期キャリアを歩むのか、経験する業務の種類や昇進・選抜の時期・基準も含めて、その概要について教えてください。

※ 私どもでは添付の 36 項目に能力を整理しています。もし、これに副ってお話いただける部分があれば、ありがたく存じます。

2. 大卒の事務・営業系社員の能力開発を行っていく上で、どのような教育訓練制度を採用しておられますか。採用後 10 年程度までの研修プログラム等について、その目的、内容、実施時期、対象者を具体的に教えてください。特に、国内外の大学院に派遣して学位を取得させるなどの研修プログラムについてもその計画や実態についてお教えてください。

3. 大卒の事務・営業系の職務内容は（採用後 10 年程度まで）、明確に定義されており、記述できるようなものですか。また、大卒者（事務・営業系）には仕事上どの程度の裁量を与えられていますか。採用後の年数との関係も含めて教えてください。

4. 近年、大卒の事務・営業系の職務内容や必要な知識・技能について変化していること、あるいは今後変化が予想されることがありましたら、具体的に教えてください。
※以下の質問にお答えいただく際に、添付の 36 項目の能力を参照していただいても構いません。

5. 英国と日本（あるいは他の国でも結構です）を比較されたとき、採用後 10 年程度までの初期キャリア段階における大卒者の職務内容や人事制度に関する異同について、何かご存知のことがありましたらお教えください。

C. 職務上必要な知識・技能と大学教育との関係についてお伺いします

※以下の質問にお答えいただく際に、添付の36項目の能力を参照していただいても構いません

1. 事務・営業系の業務を考えた場合、大学教育（特に人文・社会科学系）と職務遂行能力との間に関連があるとすれば、それは具体的にどのような知識・技能・態度においてであるとお考えですか。

2. 1. でお答えいただいた能力の育成について、現在の大学教育（特に人文・社会科学系）は十分機能していると思われませんか。また文系の中でも、学部（専門分野）や学校間で相違があると思われませんか。その理由や他の学歴卒者との比較も含めてお答えください。

3. 事務・営業系の業務遂行を考えた場合、大卒時点で①必ず身につけて欲しい能力、②ある程度身につけて欲しい能力、がありましたらそれぞれ具体的にお書きください。

4. 事務・営業系の場合、大学院教育の可能性（MBA等）をどのように考えておられますか。

貴重なお時間を割いて頂きまして、ありがとうございました。

(参考)「高等教育と人材育成に関する日英比較調査」コンピテンシー項目リスト

[Ref.] List of Items on “Competency”

日本語	English
1. 幅広い知識・教養	1. Broad general knowledge
2. 学際的な知識や考え方	2. Cross-disciplinary thinking/knowledge
3. 特定分野に関する理論的知識	3. Field-specific theoretical knowledge
4. 特定の分野で必要な方法論や分析方法の知識	4. Field-specific knowledge of methods
5. 外国語の能力	5. Foreign language proficiency
6. コンピュータを扱うスキル	6. Computer skills
7. 複雑な社会・組織・技術の体系を理解する能力	7. Understanding complex social, organisational and technical systems
8. 計画立案・調整・組織化の能力	8. Planning, co-ordinating and organising
9. 規則を現実の場面で柔軟に運用する能力	9. Applying rules and regulations
10. コスト感覚を持ってものごとに対処する能力	10. Economic reasoning
11. 情報やアイデアを収集し整理する能力	11. Documenting ideas and information
12. 問題解決の能力	12. Problem-solving ability
13. 分析能力	13. Analytical competencies
14. 学習能力	14. Learning abilities
15. 自分の仕事を客観的に評価する能力	15. Reflective thinking, assessing one's own work
16. 創造性	16. Creativity
17. プレッシャーの下でも仕事ができる精神力	17. Working under pressure
18. 緊密性・細部に目配りする能力	18. Accuracy, attention to detail
19. 時間を管理できる能力	19. Time management
20. 交渉技術・折衝能力	20. Negotiating
21. 仕事をする事への心がまえや十分な体力	21. Fitness for work
22. 体や手先を使う仕事の技能	22. Manual skills
23. 独力で仕事ができる能力	23. Working independently
24. チームの中で仕事を遂行する能力	24. Working in a team
25. 自発性	25. Initiative
26. 融通性・順応性	26. Adaptability
27. 自分の意見をはっきりと主張すること	27. Assertiveness, decisiveness, persistence
28. 集中力	28. Power of concentration
29. ものごとに没頭できる能力・資質	29. Getting personally involved
30. 誠実さ	30. Loyalty, integrity
31. ものごとを批判的に吟味・検討する能力	31. Critical thinking
32. 話しことばによるコミュニケーション能力	32. Oral communication skills
33. 書きことばによるコミュニケーション能力	33. Written communication skills
34. 自分とは異なる考えを理解し、受容する能力	34. Tolerance, appreciating of different points of view
35. リーダーシップを発揮する力量	35. Leadership
36. 自分の責任で決定を下す能力	36. Taking responsibilities, decisions